

『感動の種まき』一緒に鑑賞し体験した子どもたちが92万人突破

神奈川フィルでは、19年間に亘り通常の定期演奏会のほかに、未来を担う子どもたちに、心の教育事業を行っております。横浜市をはじめ各市町村での音楽鑑賞会や、文化庁や神奈川県で行われている「文化芸術による子供の体験事業」です。来年の秋頃には神奈川フィルを聴いた子どもの数が100万人を突破する見込みです。これからも、各地域で将来を担う子どもたちに夢や希望、そして音楽の素晴らしさを伝える『感動の種まき』がやがて芽を出し花が咲くことを願っています。



ラグビー国際試合にて国歌演奏



2017年11月4日、日産スタジアムにてラグビー日本代表とオーストラリア代表の試合が開催。試合前には大橋晃一ミュージックアドバイザーの指揮で、金管楽器、木管楽器、打楽器の神奈川フィル15名特別編成による両国歌をアレンジした演奏がおこなわれました。リポビタンDチャレンジカップ2017は、2019年ラグビーワールドカップの代表強化試合として、国際的にも重要な試合と位置づけられ、会場には約4万4千人もの観衆が集まりました。大観衆の中での演奏は大変光栄であり、演奏メンバーも緊張しながらも大役を果たしました。試合は30-63で残念ながら敗れてしまいましたが、今後もワールドカップ開催に向け、演奏で盛り上げてまいります。またこの演奏は日本テレビにて全国で紹介されました。



日本シリーズにて国歌演奏

2017年10月31日横浜スタジアム、SMBC日本シリーズ2017第3戦、横浜DeNAベイスターズ対福岡ソフトバンクホークス戦において、神奈川フィル金管楽器、打楽器11名が国歌演奏を行いました。両チーム監督、選手と約3万人の観衆が起立、荘厳な雰囲気の中での演奏でした。球場内の大型ビジョンには演奏メンバーが映し出され、盛大な拍手が巻き起こりました。今年のベイスターズの活躍を、神奈川フィルも元気に応援してまいります。

馬車道祭りでの弦楽合奏

2017年横浜市中区の馬車道は150周年を迎え、2017年11月2日に馬車道商店街が主催した関内ホールでの記念コンサートに招かれ、演奏をいたしました。第1部は神奈川フィルメンバーによる弦楽合奏。第2部は馬車道150周年イメージソング「面影とともに」を歌うデュオ、元サーカスの「2VOICE」をゲストに迎え、数々のヒット曲を歌と演奏でお届けしました。



第18回 しあわせを呼ぶコンサート

2017年9月5日、障がい者施設に通う約150人と宮前市民館にて開催したこのコンサートは、「第九を原語で歌いたい」という、ある障がいをもった男性の想いを受け17年間続いています。3年前から神奈川フィルがオーケストラ演奏を行い、歌唱指導を行った音楽家は公演の3ヶ月前から14ヶ所の施設を回り、なんとかドイツ語を覚えてもらいたいと奮闘。freude(フロイデ)を「風呂で」と工夫するなどの指導の成果が当日見事に表れていました。800人のお客様の前で一緒に演奏したことは、特別な思い出としてみなさんの心に残っていることでしょうか。



第6回 ふれあいコンサート

2017年5月23日、24日神奈川県民ホールにて、「ふれあいコンサート2017」が開催されました。この事業は、神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会が神奈川県内の特別支援学校及び特別支援学級に通う児童・生徒等2,000人を招待し、7年前からオーケストラの生の音を聴いていただいています。公演では「となりのトトロから“さんぽ”」、星野源の「恋」などポップな曲が演奏され、子どもたちは体をゆすったり、一緒に歌いながら演奏を体全体で楽しんでいる様子でした。



ランドマークタワーでの無料演奏会

2017年9月17日、ランドマークプラザ「サカタのタネガーデンスクエア」に神奈川フィルが登場。約1000名のお客様の前で無料のコンサートを行い、オーケストラの名曲メンデルスゾーンの「結婚行進曲」やマスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲などアンコールを含む8曲を演奏しました。お買い物やお食事の前後に気軽に立ち寄ることができ、オーケストラを生で体感できるコンサートとあって、会場には家族連れを含む多くのお客様が来場されました。



東北復興支援コンサート



2017年9月1日～3日、宮城県南三陸町内の復興住宅にある集会所3カ所にて、3年連続となる、復興支援コンサートを開催いたしました。神奈川フィルの木管五重奏による演奏(フルート:大見幸司、クラリネット:森川修一、ファゴット:石井淳、ホルン:豊田実加、オーボエ:鈴木純子)で、それぞれ1時間ほどの短い時間でしたが、指揮者の堀俊輔さんのトークで各会場は笑いと涙に包まれました。また、地元の志津川高校音楽部の生徒への演奏指導や文化祭での共演、ミニコンサートも開催され、意義のある時間をすごすことができました。

神奈川フィル・ジュニアオーケストラ第2期生修了公演



2018年1月8日、「神奈川フィル・ジュニアオーケストラ2017 第2期生修了コンサート」が開催されました。小学4年生から高校3年生までの子どもたちが、神奈川フィルの楽団員による6日間の指導を経て演奏会を行うプロジェクトで、第2期生52名が参加。修了公演ではまず弦楽器メンバーがモーツァルトの「ディヴェルティメント」を、次に管打楽器メンバーがムソルグスキーの交響詩「はげ山の一夜」を、そして最後に楽団員とともに総メンバーでシベリウスの交響詩「フィンランディア」を演奏しました。約250名のお客様から盛大な拍手を受け、子どもたちから「ふだん一人で練習しているだけでは気づけなかったことを指導してもらえました」「自分の世界が広がったような気がします」「貴重な経験でした。一生の宝物です」「丁寧に優しく教えていただいたことは今後の練習、演奏会でもいかしてまいります」と声があがりました。

新たなメンバーが入団しました!(2017年11月)



林辰則(はやしたつゆり)
首席トランペット奏者
1981年千葉県出身、フランス国立リヨン音楽院卒、フランス国立リヨン高等音楽院修士課程修了。日本管打楽器コンクール入選



桜田悟(さくらたさとる)
ヴァイオリン奏者
1989年千葉県出身、東京音楽大学卒。夢科音楽コンクール、宗次ホールなど室内楽で賞を受賞。脇野真樹、景山誠治各氏に師事



坂東裕香(ばんどうゆか)
首席ホルン奏者
1989年兵庫県出身、大阪音楽大学卒。伏見浩子、近藤望、池田重一、ウォルフガング・ヴィンフリートの各氏に師事

チケットのお申込み・お問合せ 神奈川フィル・チケットサービス ☎ 045-226-5107 [平日10時～18時]



www.kanaphil.or.jp



@kanagawaphil



www.facebook.com/kanaphil

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 情報紙「プレリュード」

デザイン=NDCグラフィックス • 印刷=ダイソー